

公共空間の利活用について

第8回 地域勉強会のおさらい

1

南武線沿線まちづくり

南武線沿線まちづくりにおける
「リーディングプロジェクト」



来訪者・居住者が有意義に時間を過ごせる
“居場所づくり”による賑わいや新たな価値の創出

公共空間の利活用

2

～公共空間の利活用に関する基本的な考え方～

- 地域の魅力向上に向けた駅前空間の積極的な利活用
- 地元町内会・商店街、地元企業、行政が連携した取組
- 日常的な利用にしっかりと目を向けた利活用
- 実験的な取組による地域に適した利活用
- 駅周辺の大規模土地利用転換や連続立体交差事業の実現を見据えた、長期的な取組としての枠組みの確立

鹿島田駅周辺地区における具体の取組について

地域活動の取組紹介

エリアマネジメント組織 鹿島田デイズ

5

エリアマネジメント組織 鹿島田デイズ

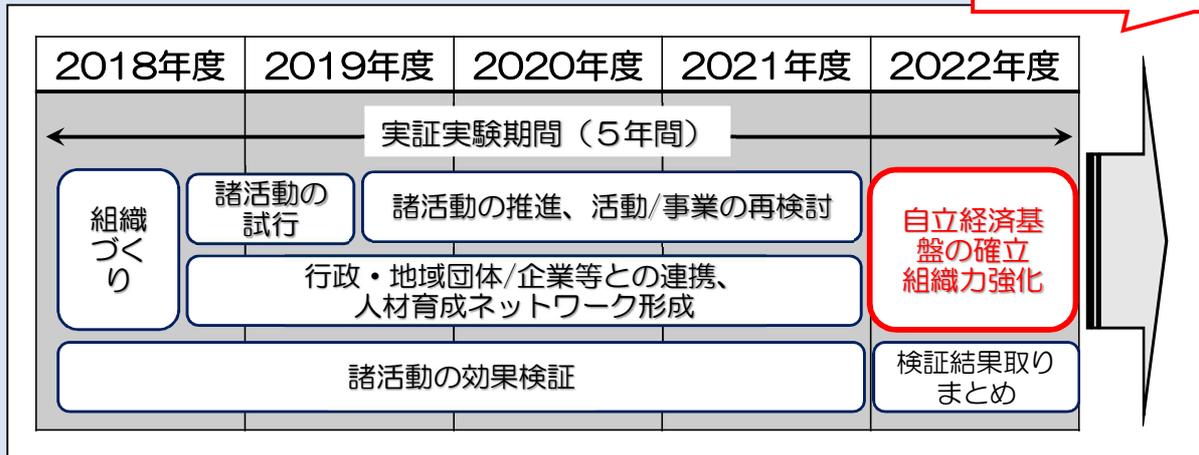
- 設立日 2018年10月1日
- 組織形態 任意組織（地域の方々）
- 設立趣意 鹿島田地域の持つ価値をより良く次世代に継承するために、必要な諸活動を改めて見出し、合意形成し、実践するための組織
- 主な活動
 - （1）まちの拠点プロジェクト
 - （2）スタートアップ支援事業
 - （3）ヒロバプロジェクト
 - （4）エリアブランディング
 - （5）効果検証

6

○活動スケジュール

将来に向けたエリアマネジメントの組織の基盤を見出し、形作ることを目標として、2018年度から5年間の実証実験期間で、鹿島田地域の価値向上をめざした様々な地域連携・公民連携による活動や事業の実証実験を行う。

2023年度以降も取組を継続



7

(1) まちの拠点プロジェクト

新たなまちの拠点を鹿島田駅前に整備。既に鹿島田地域のコミュニティ拠点として機能する「タウンカフェ新川崎」と連携し、新たな層をターゲットとして地域交流プログラムを展開予定。



主に地域のオフィスワーカーをターゲットとするコワーキングスペース&カフェ・パブとして開業（11月中旬オープン予定）

8

(2) スタートアップ支援事業

様々な市民活動のアイデアを集め、共有する中で、魅力的なアイデアを見出し、その初動を支援する地域活動スタートアップ支援の取組。
アイデアを持ち寄る会議を開催し、その入場料が互選会議で選定された企画提案者へ寄附される仕組み。

プロジェクトの概要

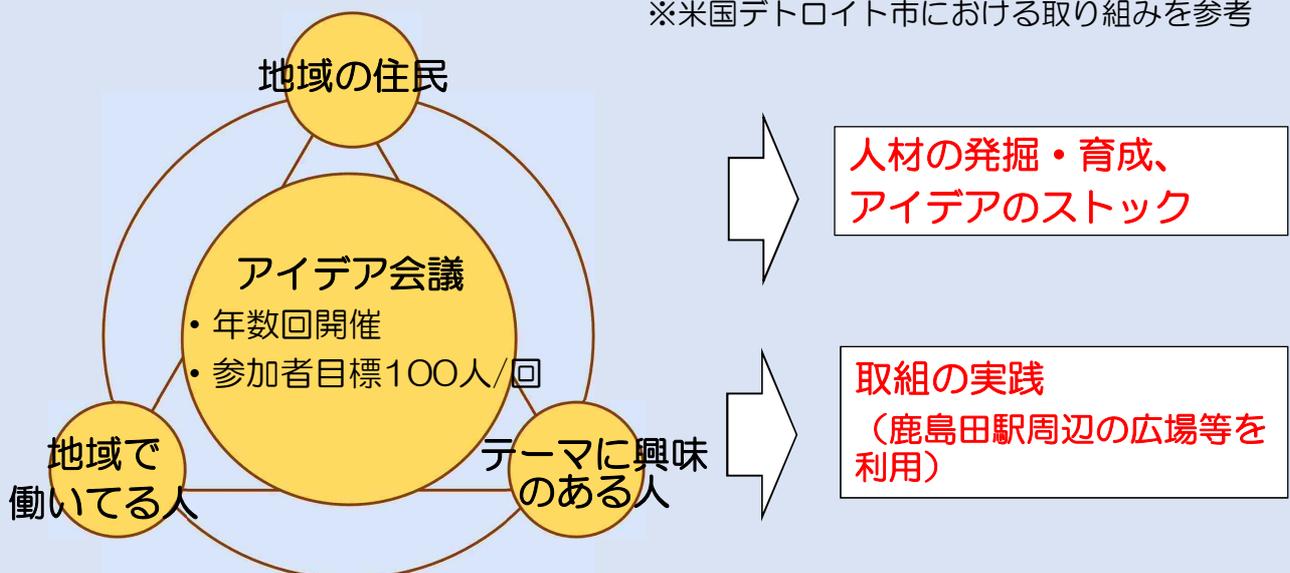
- 2018年度の活動内容（2回の実施を予定）
 - 第1回 まちづくりフォーラム（11/11）でイメージを共有
 - 第2回 企画公募方式での開催をめざす
- 2019年度以降の活動内容
 - ・年間数回の開催を予定
 - ・アイデア会議参加者増（目標100名/回）等の規模拡大
 - ・協賛企業の募集など活動原資の増強を図る

9

(2) スタートアップ支援事業

「かしまだスープ」（交流のための食事会&スタートアップ支援）

※米国デトロイト市における取り組みを参考



※ アイデア会議は、スポーツ、アート、映画、グルメ、ファッション、音楽など、各回テーマを決めて実施。

10

(3) ヒロバプロジェクト

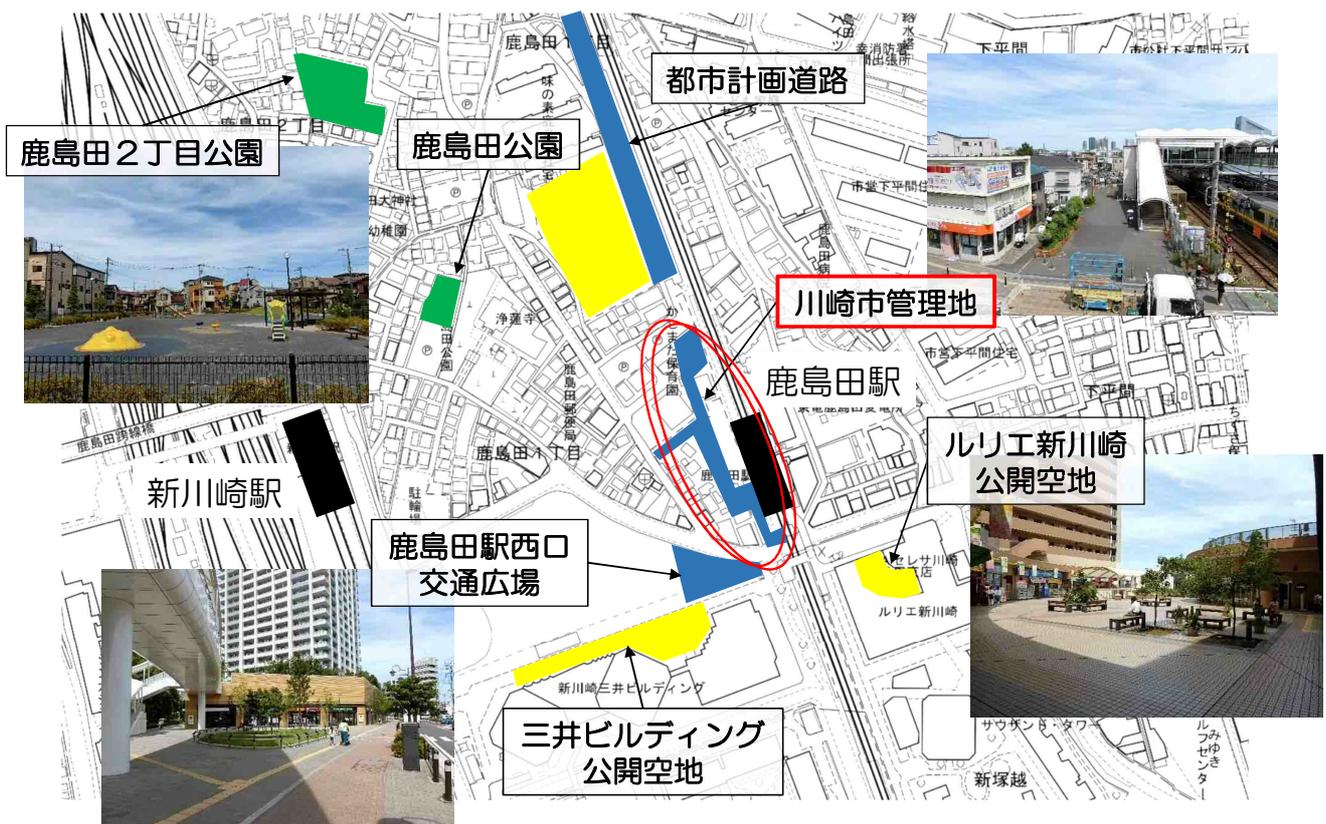
鹿島田地域の主として屋外の広場空間について、官民それぞれの管理者と連携し、各広場の設置主旨を踏まえつつも、新たな活用の可能性を検証するための諸活動。

プロジェクトの概要

- 2018年度の活動内容（川崎市管理地における社会実験）
 - 通行量、アクティビティ調査の実施（10/8・10/9）
 - 第1回社会実験（11月中旬（約1週間））
 - 芝生やベンチの設置
 - 第2回社会実験（3月頃）
 - 芝生やベンチの設置
 - +非営利/営利プログラムの実践
- 2019年度以降の活動内容（道路や駅前広場も含めて実施）

11

2018年度の実施内容



12



芝生やベンチの設置



駅前の市管理地



非営利プログラム



営利プログラム

2019年度以降の取組（想定）

取組対象の公共空気を拡大



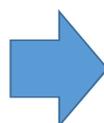
地域活動の活性化

「鹿島田デイズ」における取組



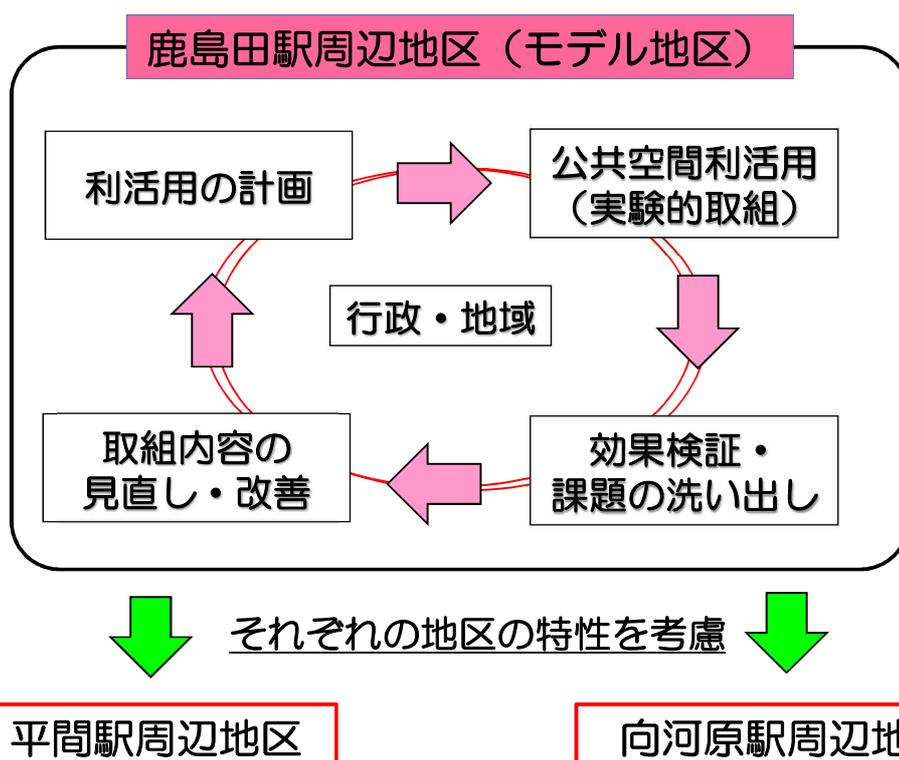
公共空間の利活用に関する基本的な考え方

- 官地・民地問わず、駅前空間を積極的に利活用
- 地域と連携した取組
- 日常的な利用にしっかりと目を向けた利活用
- 実験的な取組にトライしながら最適に利活用
- 長期的な取組としての枠組みの確立

 地域活動との連携・協働により
リーディング事業として取組を実践

15

他の駅周辺での駅前空間の利活用



16